

Q&A 第7章の中から～第九の戒め

**質問 76** 第九の戒めは、何ですか。

**答え I** 第九の戒めは、「あなたの隣人に対し、偽証してはならない」です。

**質問 77** 第九の戒めでは、何が求められていますか。

**答え I** 第九の戒めでは、人の名声を保ち、促進することを求めています。特に証言する時にそれを求めています。

**質問 78** 第九の戒めでは、何が禁じられていますか。

**答え I** 第九の戒めでは、真実をゆがめたり、あるいは、私たち自身や隣人の名声を傷付けるすべてのことを禁じています。

**1. 「あなたの隣人に対し、偽証してはならない」という、第九の戒めの本質は 何ですか。**

第6、7、8の戒めは、“行動によって”私たち自身と他の人に害を及ぼすことである反面、「あなたの隣人に対し、偽証をしてはならない」という戒めは、

“ことばによって”自分と他の人に害を及ぼすことです。第九の戒めの本質は、人との間で真実を語り、維持しなさいということです。私たちが、あることについて認めようと否定しようと、私たちのことばには、正確性と真実性がなくてはなりません。勿論、私たちの通常的な対話と約束事と取引においても、隣人に真実を語らなければなりません（ゼカリヤ 8:16）。私たちのことばに対する真実性と正確性とは、私たちのことばと行いが一致するのか否かに表れます（詩 15:1-2）。

## 2. 私たちのことばに、正確性と真実性がなくてはならない理由は何ですか。

私たちが仕える神は、真実の神であり正しく偽りがないからです（申 32:4）。神は、私たちの言うことばが神に栄光を帰するように求めています。もし、私たちが半分だけ真実を語ったのなら、それは全体の真実を隠したことになります（Iサムエル 16:2, 5）。私たちは祈りによって神に栄光を帰し、私たちの舌で神を賛美します（詩 50:15、23）。私たちの舌を持って真理を告白します（ロマ 10:10）。従って、私たちの舌は神の栄光のために、少しも隠すことなく、偽ることもなく、真実に語らなければなりません。

## 3. 第九の戒めの積極的な意味は、何ですか。

第九の戒めの積極的な意味は、人間と人間との間に真実が維持され、促進されることです。私たちが真実を維持するためには、相互間で率直になり、心から真実を語らなければなりません。最も私たちは、他の人の名と評判を価値あるように維持させ、促進させなければなりません。勿論これは、私たちの心が偽りを憎み、聖を追求する中から出て来ます。聖霊の御業によって、謙遜も悪意のない心から出て来ます（コロサイ 3:12）。私たちは特に、キリストと神に

対する信仰告白をする者たちです。従って私たちは、神の栄光のために人々との間に、相互間の信頼が促進できるように努力すべきです。

#### **4. 自分と隣人との名を、どのようにすれば、善になるように保たせるでしょうか。**

隣人の名と評判を維持させ促進させる方法は、他の人々の中にある立派な点などを見ながら相応しい方法で認めることです（ピリピ 2:4）。また、他の人たちにある長所と有益について感謝し、それを愛し、囂ることです。使徒パウロは、ローマにいる聖徒たちを考えながら神に感謝しました（ロマ 1:8）。また、ロマ書 16 章では、聖徒たちの長所を一つ一つ紹介しながら互いに挨拶を頼みます。また、他の人に対する良い評判についても、快く受け入れて喜びます（Ⅲヨハネ 1:3）。他の人の長所と賜物などを率直に認めながら、それを喜ぶのです（Ⅰコリント 1:4-7）。

#### **5. 自分と隣人との名に、善を維持することの効果は何ですか。**

自分と他の人の名を善になるように維持させることで、相互間に信頼が促進され、教会と社会が透明になります。社会が正直になり、神の公義が実現するようになれば、偽りを言う者と騙す者が共存することができなくなります。偽りと陰謀と策略などはいる所がなくなり、社会は平安と静けさを得るようになります。しかし、偽りが流行するようになれば、神の名によって軽々しく誓ったりすることが多くなり、社会自体が、騙したり騙されたりすることで一杯になります。このような社会は、人々の良心も機能しなくなり、悪が最も猛威を振るうようになります。従って、神が定められた社会に神の公義と栄光を現すようにするため、「隣人に偽証してはならない」と命令なされたのです。

## 6. 誓約をする場合は、どのように真実を証すべきですか。

特に誓約を通して、真実を語らなければならない場合があります。私たちは、どの場合でも真実を語らなければならない、特に法廷で、あるいは教会で、合法的な誓約を通して真実を語らなければならない時があります（エレミヤ 4:2）。この時、自分に困難が起きる場合であっても真実を言うべきです。偽って誓う場合には神が直ちに怒りを発すると、聖書は語っています（マラキ 3:5）。また、自分の良心を捨てて偽りを言うようになれば、それによって霊的苦しみを受けるようになり、あるいは、良心の声にも背き、しまいには信仰から離れるようになります（I テモテ 1:19）。

## 7. 第九の戒めが、禁じるのは何ですか。

第九の戒めが禁じるのは、真実に逆らうすべてのことを含めます。あらゆる嘘、騙しごと、告訴すること、ことばを曲げることをすべてを含めます。これは腐敗した属性から出て来ることで、聖霊によって新生した人は、必ずこのような行いが出ないように死なすべきです（コロサイ 3:9）。隣人について悪い噂を広めることと、隣人について偽り証言をすることも、第九の戒めは禁じています。隣人についてあざ笑ったり侮辱したり悪口を言うのも罪です（イザヤ 50:19-20）。隣人に対しての偽証は、噂によって拡大され、当事者に大きな被害を与えることを記憶しなければなりません（出 23:1）。

## 8. 嘘のことばの属性は、どのようなものですか。

真実に逆らって偽りを言うのが嘘のことばです（ヤコブ 3:14）。間違っていると知っているにも関わらず、自発的に「間違っていない。」と話すこと（I 列王 13:18）。このように、嘘のことばを通して他の人を騙し、他の人に害を及ぼすことです。このような、嘘のことばの根源は悪魔です。悪魔はエバに

「あなたは決して死にません。」（創3：4）ということばによって誘惑しました。偽証の属性は悪魔から出ます（ヨハネ 8:44）。

## 9. 嘘のことばには、どのような種類がありますか。

自分が間違っただけの情報を持ちながら、話にもならない変なことばで嘘をつく場合がありますが、悪意的な意図を持ち、他の人に被害を与える邪悪な偽証があります（IIサムエル 16:3）。邪悪な嘘のことばを言う者は、全知なる神を軽蔑する者です。邪悪な嘘のことばには、相手に危害を与えようとする意図があるので、最も悪い嘘です。間違っただけの情報を持ちながら、真実に反することばを言うのも偽証であり、急いで判断して悪く言うのも嘘のことばに該当します（ロマ 2:1）。